

田内千鶴子 社会事業家。日韓激動の時代に、韓国木甫で三千人もの孤児を育ててオモニと暮われ、両国の懸け橋となった。

たうちずこ

明治天皇没・1912 = 高知県土佐郡下知村で、駆落ち結婚した官吏の父と熱心なキリスト教徒で助産婦の母の間に生まれる。

ハルビン条約・1919 = 7歳：_朝鮮総督府木甫府庁に勤めていた父から呼び寄せられ、母とともに渡鮮し、木甫の日本人街に住む。

原敬首相暗殺1921 = 9歳：

木甫公立高等女学校に進学，

共産党事件・1928 = 16歳：この年，韓国伝導師尹致浩が儒達山の麓のバラックで，市内の孤児を集め養育する木甫共生園を開設，町民からは"こじき大将"と呼ばれる

世界恐慌・1929 = 17歳：卒業すると，_日本人街にあった教会で奉仕を始める。

海軍軍縮条約1930 = 18歳：

満州事変・1931 = 19歳：

五一五事件・1932 = 20歳：父が死去したため，助産婦として働く母を助けるべく，木甫で韓国人女子に中等教育を行う唯一の学校だった木甫貞明女学校に音楽教師として就職するが，

芥川直木賞始1935 = 23歳：体調を崩して休職，家に閉じこもりがちながら，信仰に磨きがかかり，

二二六事件・1936 = 24歳：健康回復後，_女学校時代の恩師に伴われて木甫共生園を訪問，伝導師尹致浩から請われるままに，音楽と日本語の指導を引き受け，やがて愛し合うようになり，

日中戦争始・1937 = 25歳：

健保+総動員 1938 = 26歳：_周囲の日本人がことごとく反対するなか，結婚。

第二次大戦始1939 = 27歳：

大政翼賛会・1940 = 28歳：長女が誕生，

日米開戦・1941 = 29歳：

..... 1942 = 30歳：長男が誕生，

オンドル付きの園舎も完成して，落ち着いてきた矢先，

敗戦..... 1945 = 33歳：_敗戦で日本人の立場が一変，夫尹致浩も親日家として身の危険が生じるなか，孤児らに励まされるが，

新憲法公布・1946 = 34歳：_母の強い勧めもあって，子供と唯一残っていた日本人孤児を連れ，3人目の子を宿したまま，日本に帰国。

焼野原の高知でバラック住まいしながら，母が助産婦をし，長女は幼稚園へ，次女を無事出産するが，
*長男の具合が悪化したため，3人の子を連れて韓国へ戻ると，夫尹致浩が周囲の勧めで再婚しており，親族が日本へ戻るよう求めるも聞かず，木甫共生園に戻って，以前にも増して愛情を注ぐうち，夫の新妻が自ら身を引いて落着。以後，平穏な日々が続き，

極東裁判決・1948 = 36歳：

三大事件・1949 = 37歳：4人目の子にも恵まれ，_共生園の創立20周年記念式典も開いたが，

朝鮮戦争始・1950 = 38歳：*北朝鮮軍が一気に南下し木甫もその支配下となった際，夫が区長の役割をつとめたことから，国連軍参入で逆転後，韓国側に拘束され，教会牧師らの嘆願で釈放されたが，食糧事情悪化のため，支援を求めて光州市に向かったまま消息を絶つ。その後も戦乱による難民化で孤児が増え続け，嫁入り道具を売り払い，子供たちに靴磨きさせるなどして糊口を凌ぐうち，軍医の曹正仁がボランティアで子供たちの診察を始め，

独立回復・1951 = 39歳：

テレビ放送始・1953 = 41歳：朝鮮戦争休戦後も，

なべ底不況・1957 = 45歳：

_懸命に働くうち，母から老人ホームに入居したとの手紙を受けて，帰国の思いが募り，
_女学校時代の恩師・学友や敗戦後木甫から引揚げた人たちのつくる全国木甫会が招致運動してくれ

安保闘争・1960 = 48歳：

たいたい病始・1961 = 49歳：*15年ぶりに帰国，母との再会はNHKテレビ番組{私の秘密}で全国放映される。まもなく韓国に戻ると，クーデタで朴政権が誕生し，日韓関係に改善の動きが出始めており，

TV宇宙中継始1963 = 51歳：_朴議長が全羅南道視察の際に激励してくれ，続いて日本人初となる大韓民国文化勳章国民賞を贈られる。

東京リカッパ 1964 = 52歳：_再び日本を訪れ募金活動，経団連を中心に励ます会も発足，雑誌{主婦の友}のインタビューを受ける。

大学紛争始・1965 = 53歳：_日韓国交が正常化した年，木甫市から第一回市民賞を贈られるなどするうち，重圧で体調を崩し，

いざなぎ景気1966 = 54歳：

美濃部都知事1967 = 55歳：_藍綬褒章。癌のため共生園で倒れ，ソウルの病院での闘病生活に入ると，日本語しか出なくなり，

霞ヶ関ビル・1968 = 56歳：*共生園に戻った直後，没した。木甫で初めての市民葬が営まれ，反日感情がまだ強かった朝鮮の各紙がその生涯を称えた。夫の故郷韓国咸平郡に葬られる。